

「煽り運転」

小田原市立城北中学校

三年 仲 駿成

僕には19歳の姉がいます。姉はこの夏休み中に自動車運転免許を取ることになりました。そこで、家族で煽り運転について話をしました。その時、僕の母が昔煽り運転をされて怖い思いをした話をしました。僕の姉が煽り運転を受けることを想像すると怖くなりました。そこで、社会を明るくする運動についての作文の題材にすることにしました。

煽り運転は以前から行われていましたが、2017年からそれによる死亡事故が相次ぎ、社会問題化したことで道路交通法が改正されました。2020年6月に改正道路交通法が施行され、厳正に取り締まりが行われるようになりました。2017年6月5日、神奈川県足柄上郡大井町の東名高速道路下り線で、

煽り運転による交通事故がきっかけで、煽り運転が社会問題となりました。追い越し車線に乗用車が2台続いて停車していたところ、後部から男性Aが運転するトラックが追突して、男女二人が死亡し、煽り運転の加害者Xを含め四人が重軽傷を負いました。パーキングエリアで駐車方法を注意されたことを原因とする衝動的な暴力行為です。加害者Xは逮捕・起訴され、懲役18年の有罪判決が下されました。加害者Xは、2024年4月にまだ裁判のやり直しを求めているそうです。ぼくはなんて身勝手なのだろうと思いました。加害者Xのせいで亡くなった人や怪我を負った人がいるのに、どうしてまだ反省せずに刑を軽くしようとしているのかと思います。本当に怖いです。

母の話によると、母は夜、父を助手席に乗せて細い道から広い二車線の道路に左折して出ようとしてました。左右確認をしっかりとて出たそうです。はるか遠くに車が1台来て

いるのが見えましたが、夜遅く暗かったのもその車のスピードまでは読み取ることができませんでした。はるか遠くに見えた車に、母の車が左折をして広い道路に出て少し走ると、瞬く間に真後ろまで接近していたそうです。ピタリと後ろにくっついて、ライトを上向きにしたり下向きにしたりチカチカしながら長いクラクションを鳴らされたそうです。走る邪魔をしてしまったのかと今度は隣の車線によけたところ、母の車を追い抜き、今度は母の車の前に出て急ブレーキをしてきたそうです。そして無理やり車を止めて窓を開けさせられ文句を言われたそうです。僕はこの話を聞いて、母が無事でよかったと思いました。車をぶつけられて怪我をしたり、もしかすると死に至ってたかもしれない。幸い窓を開けたときに「すみません。」と謝ったらすぐに立ち去ってくれたようですが、もしかしたら隣に座っていた父と喧嘩になってしまっていたかもしれないとも思いました。僕はとても

自分勝手な運転だと思いました。法定速度を破っておいて自分の車の速度を遅くさせた母の車に対して、イライラして威嚇をすること
で怒りを表現してきたのだと思いました。運転していたのが女性だったということでもきつと大きく出てきたのだと思います。煽り運転をされた母は、とても怖くて、家に帰るまで手の震えが止まらなかったそうです。母のことを車から降ろし、暴力をふるったり、お金を要求するようなことをされなくて本当に良かったと思います。

僕は煽り運転をする人はどんな人なのだろうと調べたところ、運転中は顔が見えにくく車内という「個室」のような環境では、職場や学校のように常識的なふるまいをする必要がないため、その人本来の性格に近い心理状況になって本性が出やすいということです。顔が見えないから自分の運転を邪魔されたと思ったときに、その復讐に一心になってしま
うそうです。きつときっかけは、少しの事で

はないかと思いました。相手は何も悪いことをしていなくても、「家や学校や会社でいやなことがあった」や、「遅刻しそうで急いでいるのに邪魔された」などではないかと思えます。それから僕は、車の大きさや車種で自分の車の方が勝っていると判断したり、相手が若い人や女性やお年寄りでも強気になってしまうのかもしれない。

煽り運転をされないためにはどうしたらいいのか考えると、ぶつかりそうなギリギリのところでは割り込んで入らないことや、法定速度をはるかに下回る速度で走らないなど自分でも気を付けられることはあると思います。それでも煽り運転をされてしまったらどんなに相手が悪くても絶対にムキになって戦わない方がいいと思います。暴力事件や死亡事故に繋がらないようにするには、すぐに警察を呼んだほうがいいと思います。それからドライブレコーダーや携帯のカメラなどを使って撮影をしておくことや、相手が下りてきても

ドアや窓を絶対に開けずに警察を待つといい
そうです。相手が車から降りてきたとき恐怖
で冷静にいられるか僕は心配です。だから僕
は将来運転するようになったら煽り運転をさ
れない運転を心がけたいです。